

所属	人間社会学部・公共社会学科	職名	教授	氏名	文屋 俊子
----	---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

東京都立大学大学院社会科学研究所博士課程満期退学。専門：都市社会学。

1993年に本学に着任。

<研究分野>

①地域における社会関係

研究分野である都市社会学、地域社会学は、地域に起きるさまざまな現象を科学的にとらえ分析することです。この過程を通じて、地域問題の解決に指針を与えることができたなら、という願いを込めて研究しています。

②イタリアの地域社会研究

地方の小さな街がどうやれば自立的に存在可能なのか、この点からイタリアの地域社会の事例に学ぶものが多いと思ひ、2001年から継続的に短期間の参与観察を行いました。

③地域交通や災害に関する研究

ここ数年、筑豊地域の交通研究をしていました。2004年に平成筑豊鉄道調査を行い、2007～2008年度の福岡県産炭地域振興センターの受託研究として筑豊地域の交通体系研究会を主宰していました。受託終了後も田川地域の地域交通ネットワークと地域社会の振興をテーマに継続して活動しています。

また、調査実習のテーマとして2011年の東日本大震災に関する本学学生対象調査、福岡県からの派遣職員対象調査などを実施し、記録に努めています。

④研究分野とはいいいがたいですが、2004年以来、本学のFD部会に所属し、全国の大学FDの動向や考え方、授業改善の進め方等を学ばせていただいています。また、福岡県公益認定等審議会を通じ、社会貢献を行う団体の動向を学んでいます。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

文屋俊子、他4名。「被災自治体の行政機能支援」福岡県立大学人間社会学部紀要22-1、2013年7月

②その他最近の業績

学会発表：文屋俊子。「被災自治体の行政機能支援」日本都市社会学学会大会、報告者、2013年9月15日、熊本大学。

③過去の主要業績

文屋俊子、田代英美、福田忠昭、「筑豊地域の交通体系検討事業研究報告書」2009年3月。

文屋俊子「イタリア地方都市の地域社会と地縁組織(2)ーシエナ市民のアイデンティティー」『福岡県立大学紀要』14(1), 77-86、2005年。

文屋俊子「団地の近所づきあい」森岡清志・松本康編『都市社会学のフロンティア 2 生活・関係・文化』121-151頁、日本評論社、1992年。

文屋俊子「大都市周辺地域の都市化」『社会学評論』148号、37-4、1987年。

3. 外部研究資金

なし

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本社会学会

日本都市社会学会

西日本社会学会
社会分析学会

6. 担当授業科目

(学部)

都市社会学・2単位・1年・後期、
コミュニティ論・2単位・2年・後期、
地域社会研究Ⅰ・1単位・2年・前期、
社会調査実習・2単位・3年・通年、
公共社会学研究Ⅰ・1単位・3年・前期、
卒業論文・10単位・4年・通年

地域社会学Ⅰ・2単位・1年・前期、
地域社会学Ⅱ・2単位・3年・前期、
地域社会研究Ⅱ・1単位・2年・後期、
データ分析の基礎・2単位・3年・前期、
公共社会学研究Ⅱ・1単位・3年・後期、

(大学院)

地域社会研究・2単位・1,2年・前期、
地域社会演習・2単位・1,2年後期

7. 社会貢献活動

福岡県公益認定等審議会 委員 (平成20年12月～)
福岡県国土利用計画審議会 委員 (平成23年11月～)
公益財団法人飯塚研究開発機構 理事 (平成24年7月～)
田川市都市計画審議会 委員
田川市地域公共交通会議
田川市の子ども達の学力向上に関する有識者会議 (平成26年9月～平成27年3月)
福智町男女共同参画審議会 委員長 (平成22年1月～平成26年10月辞任)
苅田町都市計画審議会 委員 (平成24年～)

8. 学外講義・講演

なし

9. 附属研究所の活動等

なし